

市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」中止にともない寄せられたご意見

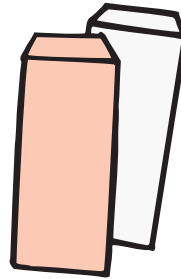
■問い合わせ先 総合政策課 ☎(32)8886

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」の開催は中止となりました。

代わりに、広く市民の皆さまから市政に対するご意見を募集したところ、35件ものご意見が寄せられました。いただいたご意見は今後のまちづくりに生かしていきます。

ご協力いただき、ありがとうございました。

このページでは、いただいたご意見と市の回答の一部をご紹介します。一覧は、市ホームページに掲載します。



ご意見・ご要望の内訳

新型コロナ	2
生活環境	14
健康・福祉	2
教育・文化	9
その他	8
合計	35

ご意見と回答

新型コロナウイルス感染症対策

医療体制など

Q. まん延防止対策として注意喚起や検査費助成を実施した結果、コロナ抑制にどれくらい効果的だったのか実績と評価を教えてください。

A. 本市でのワクチン接種率は12月6日現在、接種対象者に対して1回目90.3%、2回目89.7%となっており、接種率の増加に伴い新規感染者数も減少していることから、感染・重症化予防に効果をあげていると思われます。市民の皆さま、事業者の皆さまが基本的な感染防止対策や不要不急の外出自粛などに取り組んでくださったことにより、第5波の感染拡大が減少に転じたものと考えています。

今後も引き続き、基本的な感染防止対策の徹底を呼びかけていきます。

生活環境

県南広域的水道整備事業

Q. 下野市の水道ビジョンでは、今後40年間で水道管路の更新に約200億円が予定されており、新たに南摩ダムの表流水利用の水道費用約100億円の負担が加わると思われるが、今後の水道事業をどのように運営し、市民の生活を安定させていくのか教えていただきたい。

A. 市の水道ビジョンでは、今後40年間に必要となる更新費用は約200億円と試算していますが、管路のダウンサイジング等を行うことで177億円になると試算され、1年間平均4.4億円の

更新費用が必要と見込まれます。これは、令和2年度の水道事業建設費の決算額と同程度となっており、健全な財政が保たれる見込みです。

県南広域的水道整備事業については、現在、県において取水箇所や送水ルートを選定及び供給単価の算出が行われており、その後、構成市町と協議することになっています。

協議にあたっては、提案された供給単価などに基づき、財政シミュレーションを行い検討することになります。

今後も、市民の皆さまに安全で安心な水を安定的に供給するために、慎重に検討を重ねていきます。

健康・福祉

ラジオ体操

Q. 少子高齢化や交流の希薄化といった課題を少しでも解決するため、市内全域にラジオ体操を普及する「下野市民1万人ラジオ体操」運動を官民協働で展開すべきだと思いがいかか。

A. 市では、「みんなで健康と幸せをめざして」をスローガンに、第3次下野市健康増進計画を策定し、各種施策を実施しています。運動習慣の定着へ向けた啓発としては、市民の取り組みとして「日常生活で+10分を意識して体を動かす」「子どもの頃から楽しみながら体を動かすことを心がける」が、自治会の取り組みとして「地域の行事（運動会、ラジオ体操等）への参加勧奨」があります。市

では、効果的な運動の紹介や健康マイレージ事業の推進を実施していきます。

ラジオ体操を実施する団体等に対し、CDまたはラジオを配布し、ラジオ体操マップを作成するなど、活動の周知を図っており、少しずつ活動の輪が広がっています。今後も引き続き周知を図っていきます。

教育・文化

大松山運動公園プール跡地活用

Q. 誰にも迷惑をかけることなくスケートボードが楽しめる場所を、大松山運動公園プール跡地に整備していただきたい。

A. スケートボードについては、スポーツとしての認知度が高まるにつれ、競技をする場の必要性は高まっていますが、人気の継続性や競技人口の動向を見極め、慎重に検討していかなくてはなりません。

また、これまでのスケートボードに対する近隣との騒音トラブル等を鑑みると、住宅地の中にある公園等での施設設置は難しい状況です。地域での理解を得るためにも、スケートボード競技のイメージの向上が不可欠と考えます。

大松山運動公園のプール跡地については、競技の特性や競技者人口など、市としての必要性を十分考慮したうえで、可能な範囲でより多くの競技が行えるよう環境を整えていきたいと考えています。

